

北の要衝アオモリ



青森の基地軍

在日米軍施設の7.8%が集中 その他、陸・海・空自衛隊が存在し、これがそろっているのは沖縄以外は青森のみ。戦前は、対ロシア軍侵攻に備え、戦後も、米軍三沢基地は、極東ソ連軍や中国東北部、朝鮮の主要都市への「核出撃拠点」として位置付けられる。1980年代に米軍は、核爆弾搭載可能なF16部隊を配備し、ソ連の南下を阻止する役割に位置付けられる。在日米軍と自衛隊は、対地攻撃力、情報収集能力、ミサイル防衛力を有する。

対地攻撃の最前線

米軍三沢基地

航空自衛隊三沢基地



F2戦闘機。40機配備



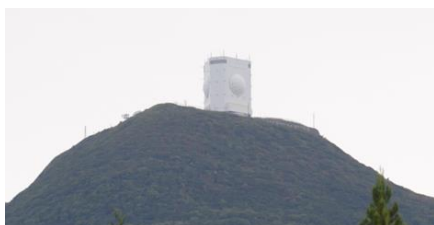
米軍三沢基地のF16戦闘機。敵のレーダーサイトや対空ミサイル、司令部機能や原子力発電所、弾道ミサイルの発射基地など対地攻撃を目的とする飛行隊。米太平洋分唯一の防空も制圧部隊。イラク・アフガニスタン・シリア内戦への攻撃に参加。40機が配備。

海上自衛隊八戸基地・大湊基地
八戸基地からはP3C哨戒機オライオンが、大湊基地からは護衛艦がソマリア沖での海賊対処行動に派遣

写真下

F35ステルス戦闘機

航空自衛隊三沢基地に配備される、最新鋭ステルス戦闘機F35。愛知県豊山にある、三菱重工名古屋南工場が、米ロッキード・マーチン社の下請けとして、完成品輸入を除く38機の最終組み立てを担当。42機が配備される予定。



ミサイル防衛用に下北半島に設置されている空自FPS2カメラレーダー



米軍三沢基地に定期的に配備されるとともに空自三沢にも配備が始まる大型無人偵察機グローバルホーク



車力駐屯地 Xバンドレーダー

米軍が開発した早期警戒レーダーで、1千キロ以上先のミサイル弾頭の形まで把握できる。使用する周波数帯「Xバンド」にちなむ。弾道ミサイルの発射を察知し、イージス艦や迎撃ミサイル部隊へデータを送る。国内では青森県つがる市と京丹後市だけに設置されている。